

代表質問

令和8年度施政方針・
教育方針から



湖南省公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

「ひとの流れの創出プラン」から

問 地方創生人材活躍事業について

答 地域における人材の発掘と活躍の場づくりを進めるため「市民人材登録制度」を推進します。市民自らが得意分野や提供可能な支援内容を登録することで、地域活動やまちづくりへの参加機会を広げるものです。あわせて学生など若い世代が参画できる機会の創出につながり、地域と若者がつながる場の形成も進めて行きます。また、行政、地域、各種団体、企業などの間に立ち、合意形成や継続した調整に有効な存在であると考えられる「中間支援事業のコーディネイター」の検討も進めていきます。

「学校教育における取組の三本柱」から

問 「らくらく勉強会」

の学習環境について

答 一部WiFi環境が整っていない状況があり、必要に応じて施設所管部局との情報共有を図っていきます。

問 「子どもの権利」の学びについて

答 「湖南省学校・園人権教育基礎プラン」に基づき学校教育活動全般の中で学習を進めています。しかしながら、十分でないという点があり、関係各所と連携しながら子どもたちの意見表明の場や社会参画の機会を創出し、一人ひとりが権利行使の主体者であり、かけがえない存在であるという自尊感情の醸成を進めていきます。

問 日本版DBSについて

答 4月から新規・継続採用者に誓約書で確認する手続きを行っています。

一般質問

市民のための公共交通を！



会派 Kiku ● 森 すなお 議員

公平な利用ができる
ごみステーション

問 不公平を解消するための「標準ルール」は作成しましたか。

答 作成しました。

問 行政区自治交付金対象事業のうち、ごみステーション、消火栓ボックス、敬老会事業については検討すべき

答 補助金制度への移行も含め、必要な制度改正の検討を進めます。

問 不公平なサービス解消への取り組みは。

答 「標準ルール」を示すなどして、早期解決に向け取り組みます。

公共交通専門部署設置と部局間連携の充実

問 施政方針で示された「湖南省地域交通のブランドデザイン」について次の3点について質問します。

①「湖南省地域公共交通計画」との関係。

②市民が便利に利用できる公共交通の全体図なのか。

③「産官共創プラットフォーム」構築事業と「住民主体の移動支援モデル事業」も示すのか。

答 本市の交通・移動の将来像を俯瞰する全体図として、車に頼りすぎない暮らしの実現をめざし、ご指摘の事業も含め策定します。

問 公共交通専門部署の新設や部局間連携実への対応は。

答 公共交通対策等に特化した「(仮称)交通政策課」を都市建設部内に新設します。

また、庁舎整備などの「(仮称)市長特命プロジェクト推進室」と、公共交通のための「(仮称)地域移動支援統括室」をそれぞれ、総合政策部内に新設します。